

樗鷄

夏虫をなにかいひげん心から我もおもひにもへぬべらなり、
〔和漢三才圖會五十二〕燈蛾 燭蛾 火蛾 俗云火取虫略 中

燈蛾多ヒトリムシ出雀甕、大五六分、形色似黃蝶、色枯渴者也、夏夜見燈燭則如欲奪火數回而終沒燈油中死、
〔醫心方一〕魚樗鷄和名天乃支乃半之。

〔大和本草十四〕樗雞 一名紅娘子、本草綱目四十ニノセタリ、宗奭曰、形類蠶蛾、但腹大頭足微黑翅兩重、外一重灰色、内一重深紅、五色皆具、筑紫ノ方言ウチ雀ト云、又一種夕顔ノ花ヲ吸翼アル虫アリ、飛コト早シ、夕顔マダラト云、是モ樗雞ノ類ナリ、樗雞ヨリ小ナリ、

〔重修本草綱目啓蒙二十七〕樗鷄 詳ナラズ略 中

大和本草ニ、ウチスハメト訓ズルハ穩ナラズ、ウチスハメハ燈蛾ノ雌ナリ、一名ザシハメハメ南部コブ尾州フクラスハメ、形蠶蛾ノ雌ニ似テ、灰褐色ニシテ粉アリ、略 中 晝ハ扉ノ陰、或器物ノ

間ニ隠レテ睡リ、夜ハ飛翔シテ、燈火ニ集リ、終ニ油ニ入り死ス、正字通ニ符子ヲ引テ、不安其味、而樂其明、譬猶文蛾去暗赴燈而死也ト云フ、

〔新撰字鏡虫〕蝶徒類反、蛺蝶也、
加波比良古、 蛺古夾反、蝶也、
加波比良古、

〔倭名類聚抄十九〕蝶 兼名苑云、蛺蝶類一名野蛾、形似蛾而色白者也、

〔箋注倭名類聚抄八〕按古今注云、蛺蝶一名野蛾、色白背青者是也、兼名苑蓋本於此、說文蛺蝶也、
也、蛺蝶也、蛺蝶正俗字、伊勢廣本蝶作蝶、按是唐人避諱字、新撰字鏡蝶蛺並訓、加波比良古、李時珍曰、蝶蛾類也、大曰蝶、小曰蛾、其種甚繁、皆四翅有粉、好嗅花香、

〔類聚名義抄十〕蛺蝶 カハヒラコ 蝶カハヒラコ

〔八雲御抄三下〕蝶 こてふ はるさまぐのはなのさくより、秋花のちるまでの物なり、たてふとも云、なべてはこてふと云、こてふにたりといふは、非蝶、來といふに似也、

蝶名稱